

秋の 天頂

こ
め
め



目次

目次

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 01 表紙 | 06 委員会 |
| 02 目次／LINE友だち追加のご案内など | 08 一般質問の目次 |
| 03 6月定例会の流れ | 09 一般質問(20人) |
| 04 6月定例会の議決結果 | 19 今後の定例会／議員表彰など |
| 05 議決ピックアップ解説 | 20 表紙の説明／編集後記など |

あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑や議会だよりの内容等、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メール等でご意見おまちしています。

アンケート用紙 → 傍聴席アンケート回収箱に
郵便 → 〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
メール → c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp

市民のご意見



議会を『ネット』で見よう！

- 本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。
- 下のQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが、スマホやタブレットから見られます。

※インターネット中継の
配信内容は、公式記録では
ありません。

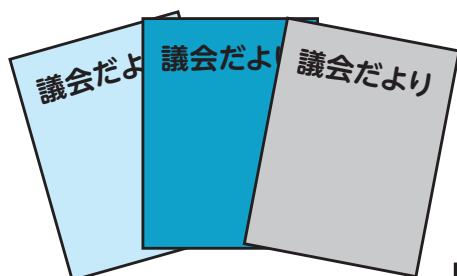
富士宮市議会

検索



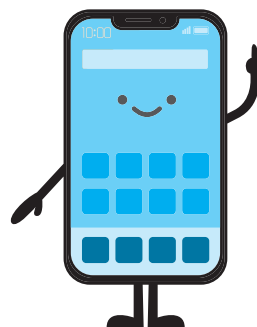
議会だより電子版のご案内

富士宮市ホームページから、議会だより電子版(PDF版)を見ることができます。バックナンバーも格納していますので、是非ご利用ください！



富士宮市LINE友だち追加のご案内

市公式LINEにて議会に関する情報を発信しています。議会の定例会、その他のイベントなどを投稿しています。



6月定例会では議案審議や一般質問を行いました。富士宮市議会では条例の定めにより、2月、6月、9月、11月に定例会を開催しています。

6/20

開会
提案理由説明 ※1

議案（条例の一部を変えることや、令和5年度補正予算など）について審議し議決しました。



6/22

議案審議

チェック! P4

常任委員会（総務文教委員会、環境厚生委員会、産業都市委員会の3つの委員会のこと）では、政策課題※2の設定や所管事務調査※3を行いました。

6/23、
26、27

常任委員会
開催

チェック! P6・7

一般質問とは、議案とは別に、議員が市の事業全般について 執行状況や考え方などを問い質し、適切に進んでいるかをチェックするものです。また、議員は活発に市に対し提言を行います。

6/30、
7/3～5

一般質問

チェック! P8～18

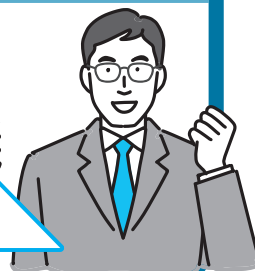
常任委員会に付託された案件を含め、その他の議案について、審議し議決しました。



7/5

閉会
議案審議

チェック! P4



用語
解説



- ※1… 市が市議会に対して、提出議案の説明を行うことです。
- ※2… 政策課題とは、3つの常任委員会それぞれにおいて、所管する事務に関し2年間の任期の間で原則1件の課題を設定します。この課題を政策課題といいます。
- ※3… 所管する事務について任意に調査することを、“所管事務調査”といいます。富士宮市議会には、所管する事務に応じて3つの常任委員会（総務文教委員会、環境厚生委員会、産業都市委員会）が組織されています。

6月定例会 議案審議結果

6月定例会 議案審議

議案番号	件名	議決結果
議選第9号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	決 定
報第13号	令和4年度富士宮市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告 済
報第14号	令和4年度富士宮市水道事業会計予算繰越計算書について	//
報第15号	令和4年度富士宮市下水道事業会計予算繰越計算書について	//
議第35号	富士宮市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 起立多数
議第36号	富士宮市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 全会一致
議第37号	富士宮市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議第38号	富士宮市立芝川中学校普通教室棟建設工事(建築工事)請負契約の締結について	//
議第39号	富士宮市立芝川中学校普通教室棟建設工事(電気設備工事)請負契約の締結について	//
議第40号	(仮称)山本高原公園整備工事請負契約の締結について	//
議第41号	富士宮市立富士宮第一中学校屋内運動場耐震補強工事請負契約の締結について	//
議第42号	富士宮市役所庁舎昇降機改修工事請負契約の締結について	//
議第43号	財産の取得について	//
議第44号	財産の取得について	//
議第45号	財産の取得について	//
議第46号	市道路線の廃止について	//
議第47号	市道路線の廃止について	//
議第48号	令和5年度富士宮市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 起立多数
諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同 意
諮第2号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	同 意
選第6号	農業委員会の委員任命に関し同意を求めることについて	同 意

※議選＝議会で行う選挙や人事案件、報＝市からの報告、議＝条例・予算・契約などの議案、諮＝人事案件のうち人権擁護委員候補者、選＝人権擁護委員候補者以外の人事案件 の略。(2月定例会からの通し番号)

※詳しくは市議会事務局(電話22-1191)までお問い合わせください。

【賛否が分かれた議案】		○は賛成。×は反対。																						
議案・結果	議員名 (議席番号順)	近藤千鶴	岩村恵美	仲亀恭平	平下尚己	赤池弘源	中野健太郎	齋藤和文	山藤陽子	稲葉晃司	白井由紀子	佐野和彦	小松快造	辻村岳瑠	芦澤秀典	佐野寿夫	望月芳将	渡辺佳正	鈴木弘	植松健一	村瀬旬	諏訪部孝敏	佐野和也	
議第35号	富士宮市税条例の一部を改正する条例制定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
議第48号	令和5年度富士宮市一般会計補正予算(第3号)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○

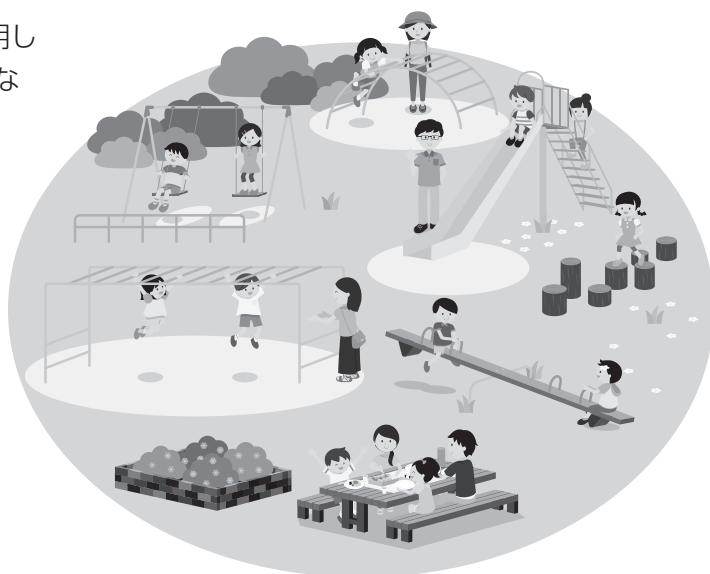
※議長は表決に加わりません

市民に知ってほしい 議決内容

議第40号 (仮称)山本高原公園整備工事請負契約の締結について ー仲亀 恭平 委員ー

市内山本に整備予定の(仮称)山本高原公園の主な内容は以下のとおりです。

- ローラースケート&スケートボードを楽しむスペースとして、多目的広場が設置されます。
- お散歩コースにもぴったりの公園です!ベンチや水道、トイレも完備されているため、お散歩中の休憩にも良さそうです。
- おすすめお花見スポットです!鮮やかで小ぶりの花をたくさん咲かせるミツバツツジ。上品で優雅さを持つ山桜。紅葉と新緑がとても美しい落葉樹イロハモミジ。
- バasketゴールがある公園です!ここで色んな人と混じってBasketボールをして仲間を増やしましょう。
- 防災機能を持つ公園です。太陽光発電を活用した照明施設、かまどベンチなど、施設に色々な工夫をしています。
- 駐車スペースが用意されています。



議第48号 令和5年度富士宮市一般会計補正予算(第3号) ー中野 健太郎 委員ー

6月定例会では、5億6,400万円を追加した一般会計補正予算を可決しました。

今回の補正予算のポイントは、国の地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策です。主な政策をご紹介します。

- ① 民間保育所や幼稚園の給食費や光熱費、燃料費の負担を軽減するため、3,805万円を充てます。
- ② 小中学校の学校給食費には5,028万円を投入し、原材料価格の高騰が激しい中であっても、質と量が変わらない給食を提供します。
- ③ 粗飼料(牧草やわら等)価格高騰対策事業費補助金として、7,024万円を計上。粗飼料はウクライナ侵攻によって価格の高止まりが続いており、特に県内一の頭数を誇る当市の乳牛を守るため、牛1頭につき1年間で上がった粗飼料代の15%を補助します。



議会運営委員会

齋藤 和文 委員長コメント

令和5年度議会運営委員会委員長の齋藤和文、副委員長の佐野和也です。どうぞよろしくお願いいたします。

議会運営委員会とは、議会の運営をスムーズに行うために話し合いを行う委員会です。定例議会（定例会）の日程、本会議の進行手順などの話し合い、議会改革や議会ルールについて提案・検討・整備化致します。

今年度は、地方自治法の改正、地方議会におけるオンラインの活用に関する通知が国から出されており、議会内から議会改革の課題が出されております。改正や通知に対応できるよう、早急に議論を開始いたします。



議会運営委員から寄せられた議会改革についても同様に行います。

議会運営委員会では、開かれた議会を目指し、市民目線で議会改革を行って参ります。

総務文教委員会

鈴木 弘 委員長コメント

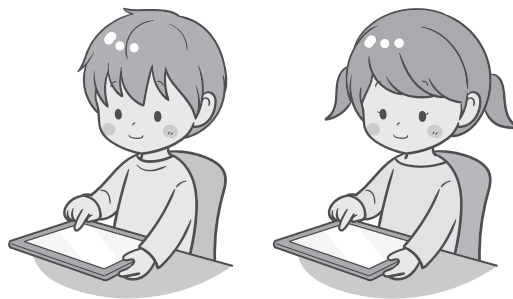
「小中学校におけるICTの活用状況」及び「特別支援学級の現状」として大宮小学校と西富士中学校を視察しました。

児童生徒一人一人が、タブレットを持ち授業を受けるようになって3年目になり、先生方も児童生徒も使用方法についてだいぶ慣れてきたと思います。

先生の話聞いた後、班別になって意見をまとめ、班ごとの意見を一齐に画面に出し、そこでまた意見を交わすということが短時間のうちに行われていました。

また、特別支援学級は8人以下のクラスで特別支援学級支援員がついています。そして、同じようにタブレットが活用されていました。

ICT活用が、これからの時代を生きていく子どもたちの教育に大いに役立つことを願います。



環境厚生委員会

植松 健一 委員長コメント

今期、新たに編成されました環境厚生委員会では、これから2年間にわたり調査研究を進めていく政策課題を「プラスチックゴミをはじめとするゴミのリサイクルについて」と決定致しました。

本市では令和6年4月よりプラスチックゴミの分別収集を始めることが決定しております。

分別収集は、リサイクルの入り口であり、今後プラスチックにおいてもリサイクルが加速していくこととなります。そのような中、日々進化しているリサイクル技術やそれに向けた収集分別の方法などを調査し、今後市民生活で発生するプラスチック以外のゴミも含め、できるだけ再資源化を図るために当市として進めて行くべき方策を研究してまいります。

また、所管事務調査として、当局の行っているプラスチックゴミの分別収集に向けた、現時点での準備状況、さらに始めるまでのプロセス等の確認を行いました。



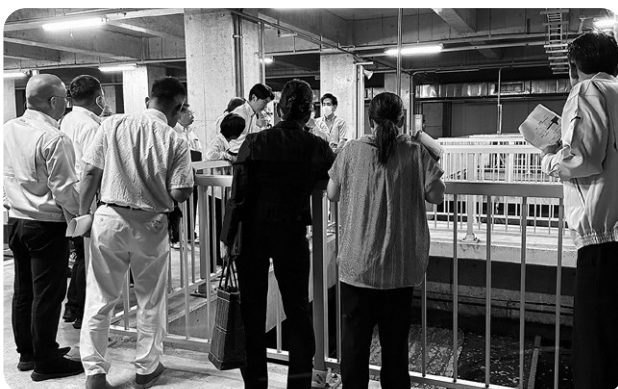
産業都市委員会

村瀬 旬 委員長コメント

今回の政策課題は、「盛土の現状と対応について」と決定しました。

また、6月定例議会での所管事務調査として、下水処理施設と上水道施設の現地調査を行いました。下水処理施設は、現在、衛生プラントと別々に処理を行っていますが、将来、同時処理を行うために試験、調査を行っています。

上水道施設は、日夜、安全でおいしい水道水を市民に供給するため、たゆまない努力の結果であり、蛇口をひねれば簡単に水が飲める工程の詳しい説明を受け、多くの議員にとっても初めての調査、研究でした。説明によると、全国うまい水道水として、富士宮市が全国2位とのことでした。



▲星山浄化センターでの調査



▲北山浄水場での調査

6月定例会の一般質問

20人の議員が、市の行財政全般についての執行状況や将来への考え方等を問い質し、適切に進んでいるかをチェックしました。また多くの議員は、市に対して施策の提言を行いました。

Topics 項目別の質問内容

議員はこんな内容を質問しています！

こども・学校教育 関係

- ・少子化について →P9
- ・スポーツ環境と活動時間 →P10
- ・教育施設の充実 →P10
- ・カーブミラー設置と通学路 →P11
- ・校内樹木が与える緑の影響 →P13
- ・不登校への対応 →P15
- ・ひとり親家庭の放課後児童クラブ
利用料助成拡充 →P15
- ・紫外線対策について →P16

産業関係

- ・企業誘致のための土地利用 →P9
- ・これからの観光 →P9
- ・ビジネスコネクットの拡充 →P11
- ・富士登山について →P12

その他

- ・買い物弱者問題 →P9
- ・山宮ふじざくら球技場 →P10
- ・空き家の現状と課題 →P10
- ・旧静岡富士病院の跡地 →P10
- ・交流センターの活用と展望 →P11
- ・富士山朝霧Biomass →P11
- ・猫の適正管理推進モデル事業 →P12
- ・投票率向上策について →P13
- ・ゼロカーボン推進戦略 →P13
- ・熱中症対策と市民生活 →P14
- ・熱中症対策 →P15
- ・会計年度任用職員の処遇改善と正
規化の方針 →P15
- ・市民文化会館の改修工事と地元業
者への配慮 →P16
- ・衛星画像を使った水道管の漏水調
査と水道料金の日割計算 →P16
- ・地域防災計画と避難所 →P17
- ・須藤市政4期目の市政運営 →P17
- ・統一地方選を終えての、市長の政治
姿勢と市長への要望 →P18
- ・富士宮市の農業 →P18

福祉・医療関係

- ・認知症に対する社会的処方箋 →P11
- ・高齢者や障がい者が直面する情報
格差解消 →P12
- ・市立病院看護師の助産師資格取得 →P12
- ・带状疱疹ワクチンの助成制度への取組 →P14
- ・HPVワクチンの勧奨と男性のHPV
ワクチン接種 →P14
- ・コロナワクチンの後遺症 →P14
- ・認知症の人が安心して暮らせる地
域づくり →P17

交通・道路関係

- ・公共交通「モビ」 →P13
- ・富士根北部の交通安全対策 →P14
- ・国道、県道、市道の草刈りと維持
補修 →P15
- ・市民の移動手段の確保 →P16
- ・青木坂、大門橋付近交差点、馬見
塚交差点への対応 →P16

紙面の大きさ上、掲載しきれなかった項目

- ・体育施設の放送設備
- ・第2次富士宮市行政経営プラン
- ・スギ花粉症対策と危険木の伐採
- ・旧フィルムパークのその後
- ・富士宮市常備消防の環境づくり
- ・富士宮市の文化芸能の向上

※一般質問の内容は、議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

少子化対策について

問 今まで行ってきた少子化対策とその成果について。

部長 富士宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、平成28年度から婚活、結婚支援、子育て応援、母子保健、児童福祉、就労支援、移住定住などあらゆる施策を行い少子化対策に取り組んでいる。しかし婚姻、出産については残念ながら十分な成果が得られていない。

問 婚姻数を増やすことを最大の課題と捉え、**本市独自の政策を考えて欲しいが、いかがか。**

部長 まずは婚姻数を増やし、希望する子どもの数を産めるような環境の整備こそが最大の課題であると捉え、結婚、出産の希望が実現できる政策を中心に検討していきたい。

市長 少子化対策推進本部を組織した。全庁

的に取り組んでいくことが大事であると考えている。

企業誘致のための土地利用について

問 広範囲に産業振興ゾーンが設定されているのに進出した企業、工場は少ない。土地はあるのに進出してこない要因は何か。

部長 ゾーン内の多くが民有地であり、企業が進出するには土地の確保から始まり、都市計画法、農地法、森林法など関係法令の許認可が必要であったり、ゾーンの中に土砂災害警戒区域が指定されていて、その調整も必要となり高いハードルとなっている。

市長 富士宮市の北部地域には広い土地がたくさんあり、この地域の開発をうまくやっていきたい。土地を有効活用するための方策を考えていかなければならないと考えている。土砂災害警戒区域に指定されていることもあり、開発できる場所が少ないが、これから第6次総合計画を検討していく中において、土地利用についても合わせて色々時間をかけてしっかりと組立てをしていきたいと思っている。



さの かずや
佐野 和也
(明和)

富士宮市内における食品アクセス(買物弱者)問題の現状について

問 富士宮市における買物弱者と呼ばれる市民の数と割合について。

部長 買物弱者という法令用語はなく、国により統一的な基準で定義を明確にしたものも存在していない。本市においても定義は定めておらず、数についても把握はしていない。

問 ある地域では大手スーパーが移動販売に興味があるということを知ったが。

部長 大手のスーパーがそういった取組をしたと市のほうにも相談にきた。買物弱者については重要な問題ということで、庁内ではいろいろと協議をしているが、今のところは非常にうまくいっていると思っているため、見守っていきいたいと思う。

富士宮市におけるこれからの観光について

問 国内外の観光客の誘致として、何か新しい取組は考えているのか。

部長 新しい取組として、VRを活用した誘客活動がある。VR技術を活用した没入感の高い動画でリアルに、行ってみたい、体験してみたいという気持ちから、実際の来訪につなげていきたい。

市長 富士宮市が国際文化都市と銘打っているからには、日本国中、世界中へそうしたPRを広げていこうと、今進んでいる。

問 富士宮市にゆかりのある著名人を観光大使にしたらどうか。

部長 富士宮市では、富士宮市観光協会が任命するミス富士山に担っていただき、積極的なPR活動に取り組んでいただいている。

市長 令和6年の話になるが、里見浩太郎さんに、流鏝馬まつりがあるときには甲冑が衣装を着てもらって出してもらおうとか、そんな努力も今している最中である。



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



ひらした なおき
平下 尚己
(明和)

体育施設及び学校施設夜間照明LED化

問 グラウンド及び体育館の夜間照明設備の普及率及びLED普及率はいかがか。

部長 令和5年度、外神スポーツ広場LED照明設置。今後、芝川B&G海洋センターをLED照明に改修したい。教室も含めLED導入可能性検討調査を実施し設置の方向性を検討。

グラウンドの夜間照明設備について

問 夜間照明設備のある小中学校と夜間照明設備のない小中学校があるが、設置基準を伺う。

部長 中学校区を基本として設置してきた。

問 夜間照明設備のない小中学校への設置計画はいかがか。

部長 設置計画なし。

小中学生の公共体育施設の利用時間について

問 現状何時から何時まで利用できるのか。

県内ほぼ全ての市町で21時まで何ら問題なく貸出ししている状況であるがいかがか。

部長 施設ごと条例で定めているがスポーツ少年団に加盟している団体に対してスポーツ少年団との協議で19時までとお願いしている。スポーツ少年団に加盟していないクラブチームが21時まで使用していることは把握している。

市長 条例では21時まで使用できるので、各団体で協議していただければと思います。

山宮ふじざくら球技場について

問 控室や更衣室棟、観覧席の必要性を考えるがいかがか。

部長 控室や更衣室棟の設置予定なし。県ソフトボール場での利用がない場合のみ使用していただきたい。現状の観覧席で十分足りていると考えているので観覧席の新たな設置予定なし。

要望 屋根付き観覧席の設置をお願いしたい。

問 一般開放の日を提案するがいかがか。

部長 施設職員が管理できる時間帯であれば、一般開放日の可能性について検討したい。



あしざわ ひでのり
芦澤 秀典
(明和)

空き家対策の現状と今後の取組について

問 2022年度に実施した、空き家の実態調査でどのようなことが分かり、今後どういう取組をしていくのか。

部長 空き家の件数は、1530棟。AからDランクに分類、D判定の「倒壊の危険性があり、解体等の検討が必要と思われる状態」が14棟と分かった。D判定の空き家については、「特定空き家」に認定するなどの対応を進めていく。

旧国立病院機構静岡富士病院の跡地について

問 静岡富士病院の跡地について、国に対しての市の取組は。

部長 市では、民間事業者などから本件土地に関する問合せがあった場合には、機構側に話をつなげるなどの対応を考えている。今後も地域活性化につながるような活用の話があれば、実現に

向けた支援なども含めて検討していく。

市長 市としては、これだけの土地をこのままにしておくのは、北部地域の活性化のためにあまりよくないと思っている。何らかの形で使用方法を見つけたいと思っている。

公立教育施設の充実について

問 市内の小中学校における和式トイレを洋式トイレに、また老朽化したトイレの改修をどのように考えているか。

部長 時間をかけて和式を洋式に全部替えていく。老朽化したトイレの改修は、古いものから順に実施することを基本とし、毎年実施している全校現地調査により、その時々状況に応じて改修するトイレを決めている。

市長 和式はもう一切やめさせて、洋式に切りかえて温水シャワー付きの近代的なトイレにするように、そういう方向で今進んでいる。

意見 トイレばかりでなく、安心安全に学べる教育環境が必要ではないかと思う。

※一般質問の内容は、議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。



なかの けんたろう
中野 健太郎

(明和)

ビジネスコネクットの拡充と産業振興について

問 令和4年度の相談実績は。

部長 ビジネスコネクットふじのみやは富士宮市、富士宮商工会議所、芝川商工会及び富士宮信用金庫の4者による相談窓口。4年度は4275件の相談があり、相談内容の一番多い補助金については、申請に対する採択率が平均以上、創業率は全国平均を上回っている。

問 コーディネーターを増員し、機能の拡充を図ることはできないか。

部長 今後の相談状況を見て、必要な時期に検討したい。事業承継の相談も月に2、3件あることからマッチングの仕組みも検討したい。

要望 新型コロナ対応の支援制度のゼロゼロ融資が返済開始期間を迎え、行き詰まる企業が増えることも予想される。金融機関との連携を

密にして、倒産を出来る限り抑えられるサポートを頑張ってほしい。

交流センターの将来展望について

問 (仮称)富士根交流センターの進捗状況と、検討されている機能は。

部長 6年度から造成工事、建設工事に着手し、7年11月オープンを予定。約130台の駐車場、児童クラブを併設し、公園や大型防災倉庫も整備する予定。

問 南部公民館は建築後40年以上が経過した。(仮称)南部交流センター建設を念頭に公共施設を再編すべきと考えるがいかがか。

部長 南部公民館は当面は現状のまま使用していく予定。ただ、南部地域には新たな交流拠点となる施設が必要。広大な土地が必要であり、時間もかかると考えるが、整備に向けて一歩一歩進めていきたい。

市長 時代の要請、南部地域の交流活動が盛んになったとか、広い土地が確保できたとか諸条件が整ってくれば、前倒しもあるのではないか。



つじむら たける
辻村 岳瑠

(明和)

認知症に対する社会的処方箋について

問 認知症の特効薬は存在しない。医療面だけに頼るのは限界がある。地域資源を社会的処方箋として施策に取り入れることについて。

部長 認知症における社会的処方箋と考える資源も多様にあり、地域の寄り合い処も社会的処方箋の一つであると考えている。

カーブミラー設置制限による通学路の安全性

問 通学路ではあるが、カーブミラーの必要性について総意とならず、設置に至らない時の市の対応を伺う。

教育長 交通安全リーダーと語る会では、カーブミラーの設置について提案されることもあるが、要望してもすぐに設置するわけではない。

部長 通学路の安全性の確保は市の役割である。交差点を通行する運転手さんへの注意を促

す交差点マーク。「交差点注意」「速度落とせ」などの路面標示を行う。

合同会社富士山朝霧バイオマスへの自動車メーカースズキ株式会社の出資は、悩まされてきた、ふん尿処理問題を解決するチャンス

問 官民連携の今後の取組を伺う。

市長 スズキ自動車の出資はありがたい。液肥の課題を解決しない限り前には進まない。

部長 液肥処理の課題が残る。

部長 液肥の課題を踏まえつつ、再生可能エネルギーの導入推進に取り組む。

問 地域循環共生圏は自立分散型の社会形成とある。さまざまな再生可能エネルギーがあるが、バイオマス発電は自立分散型の仕組みができるのではないか。

部長 バイオマス発電には大きな可能性があると考えている。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

高齢者及び障がいのある方が直面する情報格差の解消について

問 高齢者及び障がい者への具体的な避難情報等の対応について。

部長 同報無線や防災ラジオ、LINEやメール登録者への配信、音声自動サービスにて確認できる。テレビにてデータ放送、防災アプリでも確認が可能となっている。

問 特に高齢者や障がいのある方は、情報格差を解消できない(情報を得られない)が、対策は。

部長 個別の対応については、保健福祉部とも動いていく。どのように情報を伝えていくのが課題であり、要支援者の対応に繋がっていく。

市長 今後福祉サイドから、個人や団体に対して、情報を得にくい方々へは市で対応します、と声をかけて対応を強化し、富士宮市の優しさ

と思いやりのある行政につなげてまいりたい。

今後の富士登山のあり方について

問 近年の登山者数の推移について。

部長 富士宮ルートでは平成25年7.7万人がピークで、コロナ禍もあり、令和4年は4.2万人。5年は国内外から多くの登山者を見込む。

問 弾丸登山等の対応について。

市長 新型コロナウイルスが5類に移行され行動制限のない登山シーズンを迎えた。訪日外国人の旅行者も増加することから、コロナ禍前を超える水準になると予想している。すでに山小屋は多くの予約が入っており、受入れが厳しくなっている。そうしたことが夜通しでの一気に登頂を目指すことに繋がり、安全を脅かしている。今後も県を中心とした、安全対策の会議で、安全対策や弾丸登山防止の周知啓発に取り組んでいく。

問 今後の登山のあり方について。

市長 今後登山者の平準化を目指し、県や他市、事業者とも連携を図り富士山を守っていきたい。



むらせ hitoshi
村瀬 旬
(至誠)

富士宮市立病院の看護師が助産師の資格を取得することによる分娩の盤石な体制について

問 富士宮市内で分娩を取り扱う産婦人科の開業医院はなく、また市立病院において助産師の募集を行っても応募者が思うように集まらない。そこで、看護師に助産師の資格を取ってもらい対応する事業を始めているが、これについて、対象者はどのような人か、また人数はどのくらいであるか。

部長 妊婦さんの健康管理、分娩、出産、育児指導と人の誕生に関わる一連の流れを管理、指導する重要な役割を担っており、対象の要件は助産師養成学校に合格した方、勤務成績が優秀である方、引き続き市立病院に勤務することが確実な方。人数としては現在、正規職員10名、再任用職員及び会計年度職員5人体制であるが正

規職員16名となるように確保していきたい。

意見 富士宮市での開業医院がなく心配している市民もいるが、現在も問題はなく、安心して市立病院を利用していきたい。

猫の適正管理推進モデル事業について

問 富士宮市として、飼い主のいない猫の去勢、避妊手術の助成金制度ができ久しいが、モデル地区の決定はどのようにして行われるのか。

部長 自治会、ボランティア、市とで連携している事業であり、自治会の苦情やボランティアからの調査により、市が決定するものである。

問 捕獲はどのようにして行われているか。

部長 ボランティアの方々が自身で捕獲器をもっており、また、市としても2週間を期限として無料で貸し出している。捕獲後は獣医師によって、去勢、避妊手術を行う。このことによって飼い主のいない猫が年々減少している。

問 屋外で飼い主のいない猫への餌やりの苦情。

部長 職員がその家に出向き、外ではなく室内で飼育してもらうようお願いをしている。

※一般質問の内容は、議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。



あかいけ ひろもと
赤池 弘源
(明和)

学校内樹木が子どもたちに与える緑の影響について

問 現在の校内樹木の管理では、樹木の持つ緑の効果を子どもたちに十分に与えることができない。子どもの頃からの緑に対する意識を高めるため、校内緑化管理計画が必要であると思うが、市の考えを伺う。

部長 策定は考えないが、業者に委託するなど、そういったものではなく、学校と協議し、それぞれの学校でこのようにやっていこうという大きな絵ぐらひは描けると思うので検討したい。

市長 学校の緑の状況を調べてみて、見直しをしていくことは大事である。検討したいと思う。

要望 学校の緑を維持管理していくのは大変である。その計画指針を立てないと、誰でもできるものでない。仕様書でそのようなところを

しっかりと押さえていただきたい。

国民主権が反映されるための投票率向上策について

問 若者は市政に一定の関心はある。しかし、情報を得られていないため、選挙に行く気になれない。そこで若い世代を対象に富士宮市の計画を解説する講座を提案するがいかがか。

部長 富士宮市総合計画に関する出前講座について実施しているが、最近では、申込みの多くが小、中、高校からの依頼である。今後は、市内企業などにも出前講座を知っていただけるよう周知を図っていきたい。

宮バス・宮タクの運行をさらに進めるために

問 北欧発信の「モビ」を実証実験している地方公共団体があるが、「モビ」のシステムについて市の考えを伺う。

部長 「モビ」の利用方法は、スマートフォンで簡単に予約でき、月額の手続きで乗り放題プランもある。交通事業者とともに先進事例を研究し、持続可能な公共交通の構築を図っていく。



すずき ひろむ
鈴木 弘
(至誠)

富士宮市の成長戦略になる環境政策「ゼロカーボン推進戦略」について

問 既存住宅の断熱改修の推進の考えはいかがか伺う。

部長 断熱材の施工や断熱サッシ取付けなどの断熱効果のある設備の普及を促すとともに、住宅の改修に係る支援制度について情報提供することにより、既存住宅の断熱改修を推進していく。温室効果ガス排出量の削減を図り、脱炭素社会の実現に向けた市民に対する補助制度については、他の自治体の補助制度を情報収集し、新たな補助制度について研究していきたい。

問 電気自動車等の導入割合の目標が2030年度46%とあるが、どのようにすすめていくのか。

部長 令和4年4月1日現在の市域内の電気自動車の導入割合は20.8%で、増加傾向にある。公

用車においては、電気自動車2台、プラグインハイブリッド車2台を保有、令和5年度新たに電気自動車2台購入予定。計画的に電気自動車の導入を進めていく。

意見 例えば、電気バスを近くの会社で導入してもらい、富士山を走ってもらうと、電気自動車への認識が高まると考える。

問 事業所の役割について。

部長 再生可能エネルギーや省エネルギー設備の導入、環境負荷の低減に寄与する製品、サービスの供給等の事業活動における脱炭素化の推進に取り組んでいただきたい。

問 市民の役割について。

部長 再生可能エネルギー電気の購入、サステナブルファッション、食品ロスの削減、ゼロカーボン・ドライブなどの市民の皆様が取り組みやすい行動指針として、ゼロカーボンアクション30を示している。市民にできることから脱炭素に向けて取り組んでいただけるように、取組について周知啓発していきたい。



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



やまふじ ようこ
山藤 陽子
(公明会)

带状疱疹ワクチンの助成制度の取組について

問 年代別に带状疱疹に罹患している割合は。

部長 49歳までは全体の4.4%、50歳代は5.3%、60歳代は10.4%、70歳代は42.6%、80歳以上は37.3%となっており、50歳代から増え始め、70歳代でピークとなっている。この傾向は、国の調査と同じ傾向である。

問 静岡県内では、4市3町でワクチン助成が始まっているが、市で助成を行う予定はあるか。

部長 ワクチンの審議内容によると、新たな対象疾病に関する検討として带状疱疹ワクチンが挙げられている。期待される効果や導入年齢に関して検討を要するとされていることから、引き続き国の動向に注視していくとともに、原因となる過労、ストレスを解消するための周知啓発を行っていく。

HPV(子宮頸がん予防)のワクチンの接種の取組について

問 9価ワクチンとは。

部長 子宮頸がんを引き起こすと言われるヒトパピローマウイルス(HPV)には、150種類以上の型があり、9価ワクチン(シルガード9)とは、9種類の型のHPVの感染症を予防する効果がある。子宮頸がんを含むがんのリスクが高いHPV型の80%から90%をカバーできると言われ、さらに高い予防効果が期待できる。

問 男性のHPVワクチン接種助成制度を開始している地方公共団体が増えつつあるが、市として助成する予定はあるのか。

部長 市として、ワクチン接種の効果や安全面など、国における定期接種化に向けた考え方や具体的な動きを確認する必要があると考えている。今後、国や他自治体の情報収集に努めていく。



さの かずひこ
佐野 和彦
(富岳会)

新型コロナワクチンの後遺症と新型コロナウイルス感染症の後遺症から市民を救う

問 ワクチン接種をしても効果が低い人と有効な人の説明はどのようにしているか。

部長 接種券を郵送するときに説明書を添付し、ワクチンの接種会場で接種後の対応の周知文を配布している。今後は国の方針の下、効果や優先度についての新しい情報の周知と、ワクチン接種の問い合わせに対し、丁寧に対応していく。

問 体の免疫が少ないと分かる方法はあるか。

病院長 非常に難しい質問だが、不眠や過労などをした時はたとえ健康な人でも、免疫機能が衰えることは分かっている。

熱中症対策と市民生活を考える

問 各自治会が管理している公会堂、区民館及び集会所にはエアコンが完備されていない建

物もある。熱中症対策として市での設置や、できなければ補助金の新設は考えられないか。

部長 市としても設置費の相談も寄せられており、自治会活動を安全で快適に行うための活動拠点の整備は重要と考えていることから、区民館等のエアコン設置について、関係課とともに対応方法を検討していく。

市長 市営住宅の集会所や区民館など、エアコンのない場所については、自治会活動にも差し支えがあり高齢者や体の不調の人もいることから、個別調査して大至急設置できるようにする。

富士根北部の交通対策について

問 交通指導員が危険だと思う案件の対応は。

部長 声掛けや警笛を鳴らし注意しているが、ひどい場合には警察や学校に相談している。

問 外国人の自転車マナーについて。

部長 外国語版のパンフレットなどを活用しながら、外国人が多い会社等に周知していくことを検討していく。

要望 朝の交通安全の啓発を考えてほしい。

※一般質問の内容は、議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。



いわむら えみ
岩村 恵美
(キセキ)

富士宮市の不登校児童生徒への対応

問 令和元年度から4年度までの、年間30日以上登校しない児童生徒数の推移。

教育長 小中合わせて令和元年度197人、2年度202人、3年度269人、4年度307人。

問 その内、学校に復帰した児童生徒数は。

教育長 約2割。

問 不登校児童生徒が増加している要因は。

教育長 様々な要因が複合している。友だちとのトラブル、学習面や学校への不安、家庭環境、発達障がいやコロナ感染症拡大によるものなど。

問 学校以外の学習機会を確保する場所は。

部長 青少年相談センターの適応指導教室と一般社団法人サン・ビレッジの適応支援教室。

問 文科省の調査で、当事者である不登校児童と学校、教職員との間に認識のずれがあると発

表。当事者やその後の追跡調査などできないか。

教育長 いつどのようにするか検討する。

問 不登校の対策支援員を今後増やす予定は。

教育長 適任の方がいましたら予算要求する。

問 「夢見る小学校」のように、校長先生の考え方で特色ある学校を作ることはできるのか。

教育長 現在も学校のグランドデザインという形で学校運営の計画をたてている。映画ほど自由度はないが、考え方は同じ。

問 「夢見る小学校」の上映会を学校関係者やPTAなどで上映できないか。

教育長 上映する企画があれば、後援する。

意見 市長や学校関係者、保護者など、多くの人に見てもらい、共感し動いていただきたい。

熱中症対策について

問 小中学校の熱中症の予防対策は。

教育長 環境省のアラートや、WBGT計測器等を活用し運動に関する5段階の指針を実施。

意見 マスクが危険。外すことの重要性を指導して、大人からマスクを外してほしい。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(無党派)

少子化対策の重要課題として、非正規職員の処遇改善と正規化を進めるべきではないか

問 国は少子化対策の重要課題として、非正規労働者の正規化を掲げている。富士宮市の非正規職員が全職員に占める割合は県内の他市町と比べて断トツに高いが、これが正しいやり方だと考えるのか。

部長 その時に必要な人材を確保しているので、正しいと考える。

問 特別支援学級支援員は専門的で継続性のある不可欠な仕事なのに、なぜ臨時的な非正規職員を充てているのか。

部長 支援員は担任を補助する役割と考えている。

問 国の配置基準が決まっている保育士も補助的な職員なのか。

部長 会計年度任用職員の保育士は、正規職員の担任を補助する立場で、正規と非正規では職務内容に大きな差がある。

県道・国道の草刈りと維持補修をしっかりと

問 県道・国道の歩道に繁茂する雑草の草刈りと維持補修を、国・県と連携してしっかりとしてほしい。

副市長 市民に迷惑をかけて事故を起こしては何もならない。議員から厳しい質問があったことをふまえ、国・県と十分な連携を取って進めていく。

放課後児童クラブ利用料の一人親世帯助成基準について

問 児童扶養手当受給世帯という基準を緩和して、市独自の基準で実施したらどうか。

部長 市の少子化対策推進本部で、本市における効果的な対応策を検討していく。





※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



なかがめ きょうへい 仲亀 恭平

(無会派)

紫外線によって起こる様々な健康被害が問題になっている。学校生活における児童生徒への紫外線対策について伺う

問 紫外線の皮膚への影響について。

教育長 日焼けなどの急性のものと、長年にわたる蓄積により皮膚がんや白内障などの病気になるリスクを高めるといった慢性のものがある。

問 紫外線対策の実施状況について。

教育長 ①通学時の日傘。②校内及び体育や部活動中での日焼け止めクリーム。③水泳授業中のラッシュガード。各家庭での判断に任せ、申請があれば学校が受け入れる形を取っている。

問 紫外線対策を学ぶ必要性について。

教育長 熱中症対策を徹底していく中で、紫外線対策にもつなぎ、子どもたちにとって安全安心な学校を目指していきたいと考えている。

やきそば EXPRESS (富士宮・富士～東京)の 全便運休について

問 東京に直接行ける高速バス路線を確保することについて。

部長 7月22日から、1日1往復の再開が決定した。運休の理由については、近年のバス業界における全国的な運転手不足が原因である。現在、事業者においては、①雇用期間を65歳から68歳まで延長。②採用後の身分を契約社員から正社員に変更。③基本給のUP。などを行い、運転手の確保に努力している。市としても、運転手の継続的な確保に向けた活動を事業者や関係部署とともに協力していきたいと考えている。

市長 1便でも2便でも増やしていくために努力していかなければならない。富士宮市側から積極的な働きかけをしていこうと思っている。

意見 再開という言葉聞いて大変うれしく思う。やきそばEXPRESSには今後も市民のために走り続けてもらいたい。



さの としお 佐野 寿夫

(公明会)

富士宮市民文化会館の耐震化・改修について

問 改修工事の内容について伺う。

部長 躯体の耐震補強及び天井の耐震化を行い、屋根、外壁、空調機器、LED化を含む照明、エレベーターなど電気及び機械設備、ホールの音響、つり物など舞台設備の改修を行う。環境改善工事では、トイレの洋式化、大ホールの座席改修、施設全体のバリアフリー化、駐車場の整備、車椅子利用者用駐車施設の屋根及び駐輪場の屋根の設置、インターネット環境整備、授乳室の新設などを行い、誰でも安心して利用できる使い勝手のよい施設を目指す。

問 分離発注等、地元業者に配慮している点は。

部長 経済合理性、公正性、現場における工事監理が適正に行われるのかを十分に検討した上で、分離発注するかどうかを決定する。

青木坂の狭隘箇所、大門橋付近の交差点及び馬見塚交差点への対応について

問 県道白糸富士宮線・青木坂の狭隘箇所は。

部長 拡幅整備が早期に事業化されるよう、地元と連携して静岡県に働きかけていく。

問 大門橋付近の交差点への対応は。

部長 富士土木事務所へ、注意喚起として、路面標示や道路照明灯の設置など働きかけていく。

問 事故の減らない馬見塚交差点への対応は。

部長 警察と事故発生の状況確認を行い、効果的な安全対策の措置を協議し、交通事故を減らせるよう努める。

衛星画像の解析による水道管の漏水調査及び水道料金の日割り計算の実施について

問 本市の漏水状況は。

部長 年間200から250件発生している。

問 衛星画像の解析による漏水調査の実施は。

部長 実施することは考えていない。

問 水道料金の日割り計算の実施は。

部長 料金体系の見直しを検討していく。

※一般質問の内容は、議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。



うすい ゆきこ
臼井 由紀子

(富岳会)

認知症の人が安心して自分らしく暮らせる地域づくりについて

問 認知症カフェの主体、現在の数及び内容を伺う。

部長 実施主体は特に定めはなく、認知症の人、その家族、認知症キャラバンメイト、介護事業所、高校生等多様。現在21ヶ所のカフェがあり、会話を楽しむ、ソフトボール、畑の土いじり、打ちっ放しゴルフ、お散歩等、特定のジャンルにとらわれない多様な活動が広がっている。

問 認知症カフェを今後どのように展開していくのか伺う。

部長 現在、富士宮市の高齢者福祉計画及び介護保険事業計画で日常生活圏域に1ヶ所以上設置することを目指しているが、既に全ての圏域にある状況。認知症カフェの設置主体は市で

あり、立ち上げる際には主催者とその地域を担当する地域包括支援センター及び市の職員が話し合いを行い、広報啓発活動等の支援をしている。市民活動災害補償制度の対象にもなっている。年1回の認知症カフェ合同連絡会を開催しているが参加者の移動などに課題があることも感じ、今後も認知症カフェの取組を支援していく。

問 今後の運営費の補助について。

部長 市からの運営費補助は今のところ行っていない。認知症カフェ連絡会でも上がってきていないが、そのような声が上がってくれば別である。

市長 認知症カフェについて、色々と勉強させてもらって応援できることは取り組む。

地域防災計画と避難所について

問 ペット同行避難の取組について。

部長 令和5年度からペット避難スペース設営と運営マニュアルや物資を取りまとめたスターターキットを各避難所の防災倉庫に配備。今後市民に広く周知を図り、実習を開催する。



もちづき よしまさ
望月 芳将

(無会派)

子ども医療費無償化の実施時期は

問 市長の選挙公報に、子ども医療費無償化とあるが、実施時期はいつからか。

部長 0歳から18歳までの市民の入院費(食事代含む)や通院費の医療費自己負担を無償化することを、令和6年10月1日の子ども医療費受給者証の切り替え時期に合わせて実施する予定。なお、予算は約1億5千万円の増額で、総額6億6千万円となり、うち一般財源は4億6千万円となる見込みである。

問 時期が空いての実施となるが、早期に実施できないのか。

部長 各医療機関との調整が一番大事であり、医師会と調整期間を考えて、令和6年10月1日の受給者証切り替えのタイミングで行いたい。

市長 私も早期に実現したいが色々と事務手

続きをするのには、やむを得ないと判断した。

第2子以降の保育料無償化と学校給食費無償化について

問 第2子以降の保育料無償化は国の動向によっては実施しないのか。

部長 まずは国の動向を注視し、市長会を通じて要望する。市では令和5年5月に少子化対策推進本部を設置したため、総合的に議論する。

問 学校給食無償化を早期実現できないか。

部長 学校給食無償化は国の調査・検討方針が定まったばかりで、検討内容を注視し、早期実現できるよう国に積極的に働きかける。

意見 令和4年度の予算の執行状況(令和5年前期富士宮市財政事情)を見ると、一般会計で約50億円残金が生じており、繰り越し分の約10億円を引いても約40億円残る。そのうちの1割の4億円程度を財源として少子化対策や高齢者対策に使っていただきたい。



※一般質問の内容は議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年6月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、字数の関係上「部長」で統一して表記しています。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(キセキ)

第20回統一地方選挙を終え、改めて市長の政治姿勢と市長に対する要望について

問 静岡市では対立候補と話し合いの場を設けたが、市長は対立候補と話し合う気があるか。

市長 話し合いの場を設ける考えはない。

問 博物館*について建設の道筋をつけ、また、絶対必要な施設という気持ちに変わりないか。

市長 今もその気持ちに変わりはない。

問 博物館*について市長自ら、市民や多様な方の意見を聞く機会を設けることができないか。

市長 市民の皆さんとお会いした時は意見を伺うこともあるが、担当者に丁寧な説明と話を伺うように指示している。私の体は一つしかない。職員が補助してくれている。ご心配なく。

問 当選後の報道で「市民の良識の勝利」の発言は市民の混乱を招く。撤回する気があるか。

市長 市民の混乱を招くとは考えておらず、全く撤回する気はない。

意見 政治家は言葉が全て。市長の言葉は重い。夢を与える、明るい言葉を使っていたきたい。

問 文化会館と博物館とどちらが優先か。

市長 工事にかかるのは文化会館が先。

問 昨年3月の改選時に副市長の辞任はできなかったのか。任期を全うできなかったのか。

市長 副市長からは昨年3月に辞任の申し出があったが、私の市長の3期目の最後の1年であるため、強く慰留し継続してもらった。人事のことは議場で議論すべきものでない。あなたはなんでも思いついたことをどんどん、どんどんしゃべってしまって、それで議員さんですからしょうがないけれども、議論することとそうでないことを分けるよう努めてもらいたい。

意見 このまちは、市民の皆さんの税金で成り立っている。二人の間にどんな話し合いがあったか知れないが、そこには市民不在を感じる。

※博物館…(仮称)富士宮市立郷土史博物館構想



いなば こうじ
稲葉 晃司
(無党派)

富士宮市の農業について ～SAY農2023 その1～

問 人・農地プランに位置づけられた中心経営体は様々な支援制度を活用できるとあるが、諸課題をどの程度カバーすることができるのか。

部長 富士宮市では令和5年3月をもって人・農地プランの実質化作業が完了し、各地域のプランに位置づけられた中心経営体には新たに活用することが可能となる制度融資、農地利用効率化等支援交付金などの国庫補助事業のメニューの幅が広がるなどのメリットがある一方、人・農地プランに記載された諸課題は、担い手不足や農地の荒廃化など、我が国の農業の抱える構造的な問題に触れており、中心経営体が支援制度を活用しても特効薬のようにすべての課題を解決することは難しいと考えている。

市としては、地域の農業の問題解決に係る方向性を地域と行政が一体となって考え、連携して取り組んでいく必要性があると考え、国が令和4年度に農業経営基盤強化促進法を改正したことから、令和6年度末までに、市町村が主体となって地域農業の問題解決に向けた指針などを記載した地域計画の策定と、農業委員会が主体となって農地一筆一筆の利用状況を地図化した目標地図の作成に取り組み、今後の農業政策に着実に反映していきたい。

問 担い手不足を解決するために農業に触れる人を増やしていくことは大事なこと。産業振興部長が思い描いているものは何かあるのか。

部長 担い手をしっかりと作っていくために、その地域地域に農業を頑張っていただけの方、中心的に農業を経営していただだけの方を把握し、耕作が難しい方には、耕作が可能な方をお願いすることも一つの手だと考える。市外からも市内で農業を頑張っていただけの方を取り込んでいくことは必要なことと考える。

9月定例会の予定 9月12日(火)～10月13日(金)

日	月	火	水	木	金	土
9/10	11	12 開会	13	14 審議 議運	15 総務	16
17	18 祝日	19 環境	20 産業	21	22	23
24	25	26 決算	27 議運	28 決算	29 決算	30
10/1	2	3	4	5	6	7
8	9 祝日	10 一般 質問	11 一般 質問	12 一般 質問	13 一般 質問 審議 閉会	14

11月定例会の予定 11月22日(水)～12月8日(金)

日	月	火	水	木	金	土
11/19	20	21	22 開会 審議 議運	23 祝日	24	25
26	27 審議	28 総務	29 環境	30 産業	12/1	2
3	4	5 一般 質問	6 一般 質問	7 一般 質問	8 一般 質問 審議 閉会	9

インターネット中継でも視聴できます。
是非ご利用ください。



※審議…議案審議、議運…議会運営委員会、総務…総務文教委員会、環境…環境厚生委員会、産業…産業都市委員会、決算…決算審査特別委員会

◆定例会中は上記以外にも、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。

◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。
TEL：0544-22-1191

市議会議員20年表彰 渡辺佳正 議員、村瀬旬 議員

議員在職20年を迎えた、渡辺佳正議員、村瀬旬議員に、全国市議会議長会及び東海市議会議長会から表彰状が贈呈されました。



▲左から、村瀬旬議員、渡辺佳正議員

議会だより街頭広報



▲街頭広報の様子

議会だより編集委員会を中心に、浅間大社前交差点で、議会だより7月1日臨時号発行の街頭広報を行いました。

市民の皆様には、議会と議会だよりを認知していただきたいとの目的のために行いましたが、9月発行号以降も、場所やターゲットとする市民を考えながら、この活動を継続していきたいと思っております。

もし見かけた際には、気軽にお声がけください。

表紙の説明&



作者高校生紹介

表紙作品作者紹介



▲美術部部員のみなさん(表紙作品作成者)

私たち、富士宮西高美術部は、毎年クリスマスに近隣の障がい福祉施設「らぼ〜と」に絵画作品をプレゼントしています。コロナ禍でできる部活動のボランティア活動として始め、昨年で3回目となりました。

表紙は、令和2年の作品の一部で富士山をめぐる四季をメルヘン調に表現したものです。

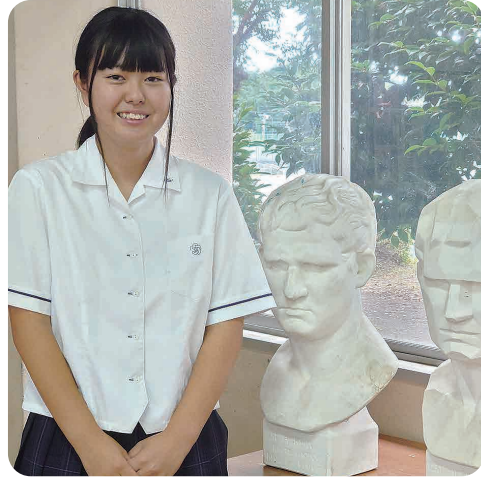
贈呈以来、ずっと施設玄関に飾っていただいています。

議会に一言

市民誰もが、気軽にボランティアに取り組める富士宮市が私たちの理想です。

今回号の表紙は、富士宮西高校に作成していただきました。次号(12/1発行)は富岳館高校が作成してくれます。乞うご期待ください!!

表紙題字作者紹介



▲山田璃子さん(表紙題字作成者)

校風紹介(学校紹介)

富士宮西高校の「今」を紹介します。

本誌の表紙になっている絵は、美術部が「絵を見てわくわくする気持ちになってもらいたい」という思いで、障がい福祉施設「らぼ〜と」に寄贈しました。

また、陸上部は富士宮駅伝のスタッフのボランティア活動、家庭部は生徒の寄付で食品を集めて必要な人に送る「フードバンク」を行うなど、地域の力になる活動に力を注いでいます。

議会に一言へのお返事と編集後記

岩村 恵美 委員

富士宮西高の皆さんがおっしゃる様に、市民の皆さんの想いを繋ぐボランティアさんが富士宮市にとって重要です。気軽に誰でも取り組めるように議員として、個人やグループを行政などの橋渡しをしております。

また、議会だよりをたくさんの方に読んでいただけるよう、委員長はじめ委員が今までにない取組をしておりますので、期待して下さい。

新型コロナウイルス感染症対策財源確保のため、今年度の議会だよりは、表裏表紙以外はフルカラー印刷から2色刷り印刷に変更されています。



笑顔
ためた

NO.431 令和5年9月1日発行

【編集発行】議会だより編集委員会

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248
E-mail c-jimmu@city.fujinomiya.lg.jp